

9 海外直接投資の状況

(1) 海外直接投資実施企業の動向

有効回答企業（126社）のうち、現在、海外直接投資を実施している企業は43社であり、全体に占める割合は34.1%である。そのうち今後も継続する見込みの企業は41社、今後は実施する意向はない企業は2社となっている。

(2) 海外直接投資未実施企業の動向

有効回答企業（126社）のうち、現在、海外直接投資を実施していない企業は83社であり、全体に占める割合は65.9%である。そのうち今後、実施する計画がある業者は2社、将来、実施を検討している企業は5社、今後も実施する意向のない企業が76社となっている。

海外直接投資の実績と計画

(単位：社)

業種	現在海外直接投資を実施		現在海外直接投資を実施していない		
	今後も継続する見込み	今後は実施する意向はない	今後実施する計画がある	将来実施を検討している	今後も実施する意向はない
食料品製造業	38	2	2	4	70
外食産業	3	0	0	1	6
合計	41	2	2	5	76

[付表8-1 (p34) 参照]

(3) 海外直接投資の主たる目的

有効回答企業（50社）の海外直接投資の主たる目的をみると、国内向け生産拠点が8社（16.0%）、海外向け生産拠点が27社（54.0%）、原料・半製品の供給拠点が4社（8.0%）、販売拠点が7社（14.0%）である。

海外直接投資の主たる目的

（単位：社・%）

業種	海外直接投資の主たる目的						
	国内向け生産拠点	海外向け生産拠点	原料・半製品の供給拠点	販売拠点	財務拠点	その他	合計
食料品製造業	8 (17.4)	27 (58.7)	4 (8.7)	4 (8.7)	1 (2.2)	2 (4.3)	46
外食産業	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (75.0)	0 (0.0)	1 (25.0)	4
合計	8 (16.0)	27 (54.0)	4 (8.0)	7 (14.0)	1 (2.0)	3 (6.0)	50

（注）（ ）内の数値は、各業種ごとに当該回答のあった企業の割合を示したもの。

[付表8-2 (p34) 参照]

(4) 海外直接投資の対象地域

有効回答企業（50社）のうち、海外直接投資の対象地域は、東アジアが24社（48.0%）で最も多く、次いでアセアン22社（44.0%）、北米4社（8.0%）となっている。

海外直接投資の対象地域

（単位：社・%）

業種	海外直接投資の対象地域								合計
	北米	中南米	東アジア	アセアン	西アジア	オセアニア	EU諸国	その他	
食料品製造業	4 (8.9)	0 (0.0)	21 (46.7)	20 (44.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	45 (100.0)
外食産業	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (60.0)	2 (40.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (100.0)
合計	4 (8.0)	0 (0.0)	24 (48.0)	22 (44.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	50 (100.0)

（注）1 （ ）内の数値は、各業種ごとに当該回答のあった企業の割合を示したもの。

2 東アジアは中国、韓国及び台湾を、アセアンはシンガポール、マレーシア、タイ、インドネシア、フィリピン、ベトナム、ラオス、カンボジア、ミャンマー及びブルネイをいう。

[付表8-3 (p35) 参照]